

九州の星
Star of Kyushu

| 67 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

将来はテレビで
気象情報を解説したい！

桜が満開の舞鶴公園にて。小学校卒業後の春休みに撮影

小学6年生で気象予報士合格！



▲舞鶴公園を見渡せるFFG本社ビルにて、オリジナルのU5(=有吾)Tシャツを着て撮影

島田 有吾

SHIMADA YUGO

Age 12

中学1年生(現、取材時は小学6年生)
福岡市在住

幼少期から育まれた気象への興味

2021年3月、合格率5%前後の難関国家資格、気象予報士の試験に小学6年生(現・中学1年生)の島田有吾君が見事合格した。男子最年少合格の快挙だ。

島田君が気象に興味を持ったのは幼稚園の時。「前の日に天気予報を見ながら、天気に合わせて幼稚園に着ていく服を準備するのが日課で、日々変わる気象に興味を持つようになりました」

小学2年生の時にテレビ局を見学し、気象予報士さんから精緻なデータを見せてもらい「君も大きくなったら気象予報士になってみたい」といわれて奮起した。

気象予報士の試験は一般・専門・

実技に分かれ、高校レベルの数学、物理の知識、天気図のデータ解析が必要だ。島田君は小学4年生の3学期から気象予報士の勉強を始めた。

「学校の勉強と重ねて気象を勉強するので、平日は2時間、休日は5時間。それを約2年間、ほぼ毎日続けていました」
年2回の試験に挑戦すること4回目、小学校最後の試験でついに合格した。

「将来はテレビで気象情報を解説する人が研究者になりたいです！」

気象予報士に合格した後も「天気図を見るのが好き。これからは台風のデータ分析をしたいです」と、気象への興味は尽きない。



▲2021年3月、小学校の卒業式。
家族と一緒に記念撮影